

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和5年度分を含む」)

静岡県立掛川東高等学校

目	次
事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	15
学校施設の概要	16
在籍生徒調	18
入学志願者及び入学者数調	19
卒業生の動向調	20
生徒の状況	21
職員調	22
職員の年齢調	25
健康管理	26
授業料収納状況調	27
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	29
預金調	30
郵券等受払調	31
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	33
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	34
委託料に関する調	35
負担金支出調	41
建築工事調	43
公有財産調	45
借地借家等調	47
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	48
行政財産貸付・使用許可調	49
普通財産・借受財産等貸付調	51
主要備品調	52

事 務 事 業 の 概 要

1 概況

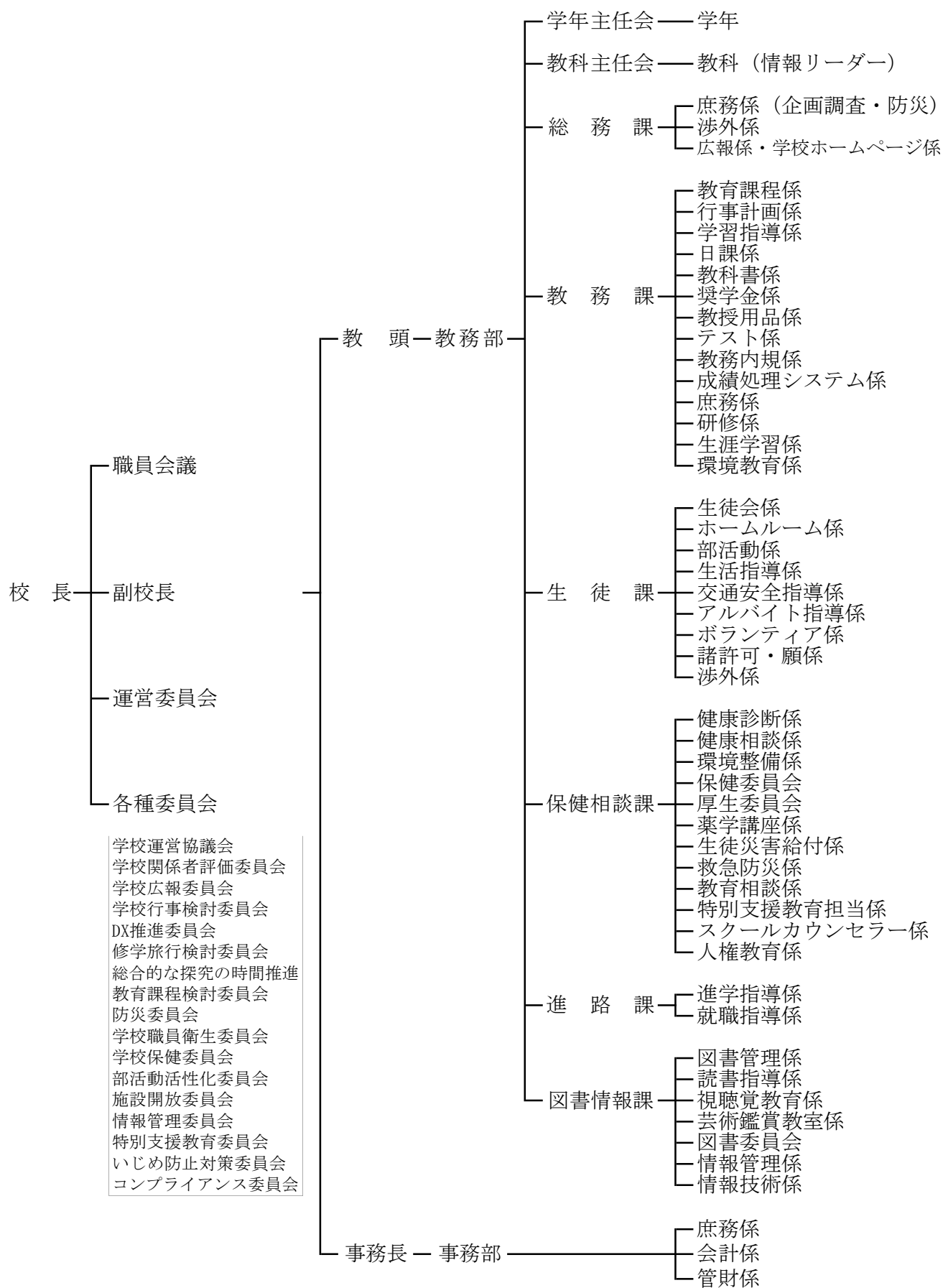
(1) 学校の沿革

明治	36. 9. 1	掛川町立掛川女子尋常高等小学校内に掛川女学校を設置
	41. 4. 24	掛川女学校を女子技芸学校に改称
大正	2. 1. 13	掛川町立掛川実科高等女学校として創立許可、4月より開校（この年を創立元年とする）
	4. 4. 28	旧掛川城内に新校舎を移転（修業年限4年、入学資格尋常小学校卒業者、定員200人）
	10. 3. 31	高等女学校令により組織変更
	11. 3. 31	学級増加、定員400人となる。
	12. 2. 28	県立に移管し、静岡県立掛川高等女学校と改称
	14. 2. 6	講堂竣工
昭和	4. 4. 11	家政専修科を開設
	9. 4. 21	家政専修科を県立に移管し、補習科と改称
	16. 3. 30	学級増加、本科定員600人となる。
	18. 3. 31	学制改革により補習科廃止
	20. 3. 30	学級増加、本科定員800人となる。
	21. 6. 1	補習科再び開設
	22. 3. 31	学制改革により補習科を廃止し、修業年限5年の高等女学校となる。第1学年を募集せず、第2、第3学年をもって併設中学校とする。
	23. 4. 1	学制改革により高等学校となり、静岡県立掛川第二高等学校と改称、定員550人となる。
	24. 4. 1	新制高等学校の再配置により、組合立掛川実科高等学校を合併し、静岡県立掛川東高等学校と改称、全日制の課程の普通科課程を普通科的家庭課程と変更し暫定定員430人とする。定時制の課程設置、暫定定員80人とする。（商業課程40人、家庭課程40人）
	25. 4. 1	定時制の課程を夜間制とする。
	26. 4. 1	定時制の課程の家庭課程、商業課程を廃止し普通課程とする。定員40人
	30. 1. 1	学則改正により全日制の課程（普通・家庭）600人となる。
	34. 3. 31	別館1期工事竣工
	34. 4. 1	学則改正により全日制の課程（普通課程・家庭課程）750人となる。
	35. 3. 31	別館2期工事竣工
	35. 4. 1	全日制の課程の家庭課程を廃止、普通課程750人となる。
	38. 4. 1	生徒急増により第1学年募集定員普通科350人となる。
	39. 3. 31	校地拡張工事竣工
	40. 3. 31	本館1期工事竣工
	41. 3. 31	本館2期工事竣工
	41. 4. 1	全日制の課程に厚生に関する学科（衛生看護科）を併設、定員40人とする。
	41. 9. 30	体育館兼講堂竣工
昭和	42. 1. 10	本館3期工事竣工
	43. 3. 31	正門、前庭造園工事竣工

	43. 4. 1	第1学年募集定員普通科 336 人となる。
	44. 4. 1	第1学年募集定員普通科 329 人となる。
	44. 8.15	プール竣工
	45. 4. 1	第1学年募集定員普通科 322 人となる。
	45.12. 5	生活館竣工
	46. 4. 1	第1学年募集定員普通科 315 人となる。
	49. 3.25	器材室等増築工事竣工
	55. 4. 1	定時制の課程募集停止
	57. 4. 1	第1学年募集定員普通科 270 人となる。
	58. 3.25	衛生看護科実習室竣工
	58. 3.31	定時制の課程廃止
	58. 4. 1	第1学年募集定員普通科 315 人となる。
	60. 8.31	運動場拡張工事竣工
	62. 4. 1	生徒急増により第1学年募集定員普通科 360 人となる。
	62. 11.5	創立 75 周年記念
	63. 3.29	学級増による新校舎竣工
平成	元. 2.28	第二体育館竣工
	4. 4. 1	生徒急減により第1学年募集定員普通科 355 人となる。
	5. 4. 1	第1学年募集定員普通科 341 人となる。
	6. 4. 1	第1学年募集定員普通科 334 人となる。
	7. 4. 1	第1学年募集定員普通科 327 人となる。
	8. 4. 1	第1学年募集定員普通科 280 人となる。
	9. 4. 1	第1学年男女共学となる。
	11. 4. 1	第1学年募集定員普通科 320 人となる。
	13. 4. 1	第1学年募集定員普通科 280 人となる。
	14. 4. 1	衛生看護科募集停止
		第1学年募集定員普通科 320 人となる。
	14. 5.31	本館耐震補強工事竣工
	14.11.13	校歌の歌詞を一部変更
	15.11.28	新校舎竣工
	16. 3. 1	衛生看護科 閉科式
	16. 3.19	桔梗が丘校舎 閉所式
	16. 4. 1	新入生から単位制を導入。第1学年募集定員普通科 280 人となる。
	16. 4. 7	新校舎 開所式
	16.10.28	新校舎 落成式
	20. 4. 1	第1学年募集定員普通科 240 人となる。
	21. 4. 1	第1学年募集定員普通科 280 人となる。
	23. 4. 1	第1学年募集定員普通科 240 人となる。
	24.11.15	創立 100 周年記念
	29. 4. 1	男女共学 20 周年
令和	2. 4. 1	第1学年募集定員普通科 200 人となる。

(2) 組織図

R7. 4. 1



2 目指す学校像

校訓「清く、明るく、正しく、強く」のもとに、清楚で礼儀正しく誠実な人物を輩出する普通科の伝統校として、自律と自立を重んじ、多様性を認め、「主体的・対話的で深い学び」を実践する教育活動を通して、人生を主体的に創造し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と、人としての高い品性を涵養する	・「自律と自立」の意味について考え、行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒 95%以上 ・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラル守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上	A	A	本校の生徒は、いっどこで見かけてもきちんとした制服の着こなしができています。 生徒アンケートの記述に、あいさつについて、更に向上させたいというものがあつた。 また、生徒のあいさつに対しての教員側の応答について指摘するアンケートの回答があつたので、改善の必要がある。 学年が進むにつれて肯定的な評価が上がっている。生徒の前向きに頑張ろうという意識の高まりがうかがえる。
		・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上			「自律」が浸透している結果で素晴らしい。
		・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒 50%以上			生徒に、ポートフォリオ作成の意味や効果について伝わっていないのではないか。
イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる教養を身につける	・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員 80%以上 ・「週5日以上自主学習に取り組めた」とする生徒 60%以上 ・授業がわかり、学力が伸びていると感じる生徒 75%以上 ・学習方法、学び方の改善を生徒に提供した教員 75%以上	A	A	他の教員の授業をいつでも見学でき、自分の授業の参考にしたり、生徒の様子を見たりしていただけることはとても良い取り組みである。 自主学習に取り組む生徒の割合がまだ低い。生徒にもっと将来の夢について具体性を持たせたいところである。

		・「情報セキュリティを意識した活用を心掛けた」と答える生徒 90%以上	A	A	昨年度からさらに数値が向上している。
		・ICTを活用する授業を行う教員 90%以上	A	A	最新のICT技術の活用方法についての校内研修を推進してほしい。
		(総合的な探究の時間について)・年度内に計画を実行していく中で、内容についてその都度検証し、必要な見直しをする。	A	A	多忙な中ではあるが、計画を実行し見直し、再び計画実行するPDCAサイクルを更に進めてほしい。
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する進路を探究する	・「主体的に将来を考えた」と回答した生徒 100% ・「本校の進路指導に満足している」生徒が 80%以上 ・進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員 100% ・各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上	A	A	100%という数値目標は、達成がなかなか困難なのではないか。 検定は積極的に挑戦するよう促してほしい。
エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合えるたくましい心身と豊かな感性を育成する	・「学校生活に満足している」とする生徒 90%以上 ・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」と答える生徒の割合 80%以上	A	A	昨年度よりもさらに数値が向上している。 学年が進むにつれて数値が上がっており、学校生活を安定して遅れている表れのように思う。
		・授業を利用して外部の専門家を招いての講演会を年間2回以上開催し、人権意識の向上を図る。	B	B	デートDVなどを題材として取り上げたことは良かった。 身近にある問題をこれからも取り上げてほしい。
		・毎月1冊以上読書をした生徒および教員 80%以上	C	C	教員側の数値が低いことが気になる。自分自身を磨き、向上しようとする姿を生徒に見せていくことができればよいと思う。 活字離れの中で、難しい問題である。
		・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」とする生徒 80%以上	A	A	95%を越える数値は立派である。

オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校改善を行う	・「進んでボランティア活動に参加できた」とする生徒 50%	A	A	情報提供を増やすとともに、数値目標の検討も必要である。
		・PTA行事等への参加率 50%以上 ・ホームページ等で情報発信を行った教職員 75%以上	A	A	情報発信については実質的に100%であるという説明に納得したが、回数よりも更新頻度を評価尺度とした方がよいのではないかな。
		・「掛川東高校の教育に満足している」との回答 75%以上 ・保護者及び生徒のCーラーニングの登録率 100%、利用率 90% ・校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 50%以上	A	A	保護者はわが子の姿を見て、東高の教育を判断している。90%を超える信頼度の高さをぜひ維持して欲しい。 地元地区としても、東高生徒関わることはないかと考案中である。 異世代、年配者と活動する機会は高校生にはあまりないように思うので積極的に検討して欲しい。
		・「学校に信頼できる先生がいる」とする生徒 80%以上	A	A	教育機器がいかに進歩しても「教育は人なり」だと思う。 肯定的ではない 14.1%にも目を向けてほしい。
		教職員の事故発生件数ゼロ ・施設に関する事故発生件数ゼロ ・監査等の指示・指摘事項ゼロ	A	A	監査等の指示・指摘事項がないことは日頃の管理の賜物だと思うが、常にこれでいいのか問い続けてほしい。 通学路や学校周辺の危険個所について、情報を共有していきましょう。
カ	生徒、教職員が、活力ある学校生活を送ることができる環境を整備する。	・設定された時間内での会議 80%以上	A	A	効率的な運用がなされている。
		・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す	A	A	生徒の意識の高さや「自律」の効果がみられる。 教員側の一層の取り組みを求めたい。
		・「下校時刻を守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上	A	A	98%を越える割合であり、よく守られている。
		・週1回定時退勤できた教職員 70%以上 ・（部活動ガイドラインの）「趣旨を踏まえて活動できた」と答える教員の割合 100% ・負担感、多忙感が改善されたと感じる教職員 50%	A	A	教員のアンケートによれば、仕事の偏りについての意見があったので、生徒の事故がないように対応をお願いしたい。 目標値を下回ってる指標があり、何らかの手立てが必要である。

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と、人としての高い品性を涵養する	・教職員による「自律と自立」を後押しする生徒への接し方、「自律と自立」について考える LHR、学期末に行う振り返り等を通して、生徒の意識高揚を図る。 ・教職員、生徒ともに時と場をわきまえた丁寧な言葉遣い、清潔感を与える身なりを整える。 ・生徒会活動等を通し、ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラル守る意識を養う。 ・ノーチャイムを通じて、次の予定を考え、時間を見て行動する力を育成する。 ・電子、紙媒体等に自己の行動記録をとらせ、日常生活から主体性を育む。	・「自律と自立」の意味について考え、行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒 95%以上 ・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラル守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒 50%以上	全教職員 生徒課 全教職員 生徒課 生徒課 保健相談課 全教職員 生徒課 学年 担任
イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる教養を身につける	・教員が相互に授業見学を行い、多様な指導方法を学び、授業改善を推進する。 ・適切な課題を設定し、家庭学習習慣の定着をはかる。 ・ICTを活用した授業を展開し、生徒の学力の向上をはかる。 ・学びの基礎診断等を活用し、生徒の学びについて改善のアドバイスを行う。 ・情報セキュリティ意識の向上を進め、BYODによる1人1台端末を有効に活用できる環境整備と生徒及び教員の積極的な利用を推進する。 ・3年間を見据えた総合的な探究の時間の指導方法を検証し、生徒の探究する資質能力を育てる。	・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員 80%以上 ・「週5日以上自主学習に取り組めた」とする生徒 60%以上 ・授業がわかり、学力が伸びていると感じる生徒 75%以上 ・学習方法、学び方の改善を生徒に提供した教員 80%以上 ・「情報セキュリティを意識した活用を心掛けた」と答える生徒 90%以上 ・ICTを活用する授業を行う教員 90%以上 ・年度内に計画を実行していく中で、内容についてその都度検証し、必要な見直しをする。	全教員 教務課 教務課 図書情報課 全教員 図書情報課 総合的な探究の時間推進委員会
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する進路を探究する	・職業観を育て、そこから遡って高校卒業後の進路を考えさせる機会を設け、働くことの意味を考え、積極的に社会とかかわろうとする生徒を育成する。 ・「進路ミニ講座」「夢ナビ」「企業説明会」等を通して多様な進路を知るとともに、自分の興味関心の深化や職業観を育成する。 ・将来を見据え、模擬試験の受験科目を主体的に考え、学習成果の確認と進路選択の範囲を広げる。 ・自己の可能性を切り開くために、模試や様々な検定に積極的に挑戦する生徒を育成する。	・「主体的に将来を考えた」と回答した生徒 100% ・「本校の進路指導に満足している」生徒が 80%以上 ・進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員 100% ・各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上・	進路課 進路課 全教員 進路課 教科 進路課

エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合えるたくましい心身と豊かな感性を育成する	・生徒が学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動に積極的に参加できるよう教職員がサポートし、生徒の主体性を高める。 ・健康、生命を大切にする指導及び人権教育を計画的、継続的に実施する。 ・魅力ある図書館づくりおよび朝読書等により、本に親しむ機会を増やし読書量を増加させる。 ・積極的に社会や学校全体に貢献する姿勢を育てるため、自発的活動の情報を発信し積極的な参加を促す。	・「学校生活に満足している」とする生徒 90%以上 ・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」と答える生徒の割合 80%以上 ・授業を利用して外部の専門家を招いての講演会を年間 2 回以上開催し、人権意識の向上を図る。 ・毎月 1 冊以上読書をした生徒および教員 80%以上 ・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」とする生徒 80%以上	全教職員 生徒課 保健相談 課 学年 担任 図書情報 課 生徒課
オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校改善を行う	・学校外で高校生が参加できる活動・イベントの情報を積極的に発信し、社会に関わる活動への参加を促す。 ・PTA活動の内容を充実させ、学校経営に負担なく関わられるようにする。 ・授業、学校・学年行事、部活動の様子をホームページ等で広報し、地域の学校理解を深める。 ・保護者等にアンケートを行い、学校経営の改善を行う。 ・C-ラーニングを活用して日々の出欠連絡及び事務連絡を進める。 ・大学や他の高校、海外とのオンラインなどを使った交流を年に 3 回以上行う。 ・教育相談、アンケート調査、スクールカウンセラーとの連携等により、生徒の心のケアを行とともに、生徒個々の情報を教職員で共有し、生徒が相談できる教職員を学校全体から選べるようにする。 ・コンプライアンス研修を月例で行い、危機管理意識を向上させる。 ・財政負担を絞った教育環境の整備と、学校経営予算の適正な執行を行う。	・「進んでボランティア活動に参加できた」とする生徒 50% ・PTA行事等への参加率 50%以上 ・ホームページ等で情報発信を行った教職員 75%以上 ・「掛川東高校の教育に満足している」との回答 75%以上 ・保護者及び生徒のC-ラーニングの登録率 100%、利用率 90% ・校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 50%以上 ・「学校に信頼できる先生がいる」とする生徒 80%以上 ・教職員の事故発生件数ゼロ ・施設に関する事故発生件数ゼロ ・監査等の指示・指摘事項ゼロ	生徒課 (関係部活動) 全教職員 (総務課) 全教職員 図書情報 課 全教職員 (進路課) 保健相談 課 管理職 事務室
カ	生徒、教職員が、活力ある学校生活を送ることができる環境を整備する。	・効率的な業務遂行に努め、会議等は勤務時間を厳守するよう努める。(NES 掲示板の有効活用) ・2 分前の行動により生徒、教職員の時間に対する意識を高める。 ・生徒の一般居残り時刻(17:45)、特別居残り時刻(19:30)を守る。 ・各自が週 1 日の定時退勤日を定め宣言する。 ・部活動ガイドラインの趣旨を踏まえた活動時間、活動内容を行う。 ・分掌、業務分担を平準化し、全教職員がチームとして業務遂行を行う。	・設定された時間内での会議 80%以上 ・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す。 ・「下校時刻を守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・週 1 回定時退勤できた教職員 70%以上 ・「趣旨を踏まえて活動できた」と答える教員の割合 100% ・負担感、多忙感が改善されたと感じる教職員 50%	管理職 各課長 管理職 教務課 生徒課 全職員 全教職員 (管理職)

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和5年度	・掛川東高校広報戦略 今年度は、学校案内パンフレット刷新した。ページ数を増やし、新たにスクールミッション、スクールポリシー、総合的な探求の時間の紹介、学校生活に関するQ&Aを追加した。また、キャッチコピーも考案した。 ・地域と連携した教育活動	・スクールミッション（教育目標）、スクールポリシー（目指す生徒像）を系統的に紹介し、地域の幸福を追求できる人材として必要な自律と自立の力を育む学校であるというメッセージを、中学生とその保護者を含む地域へ発信することができた。 ・キャッチコピーは、パンフレットを手にした中学生が期待感を強く抱くことができるように、「掛東から、始まる物語（ストーリー）」とした。 ・総合的な探求の時間で「誰もが暮らしやすい社会を実現するためにどうしたらよいのか」というテーマのもと、掛川市街地にて車いすスポ GOMI 大会を企画し、約半年間の準備期間を経て開催した。掛川市長、副市長、市議会議員をはじめ総勢 100 人規模の参加者からは、満足度 100 パーセントの回答をいただき、自ら体験することで得た発見や気づきを通して、誰もが暮らしやすい社会を考えることができた。
令和6年度	・地域と連携した教育活動	・総合的な探究の時間に、生徒が掛川市内のコミュニティ・レジデンスを訪れ、大人たちに探究学習の相談を行う「ポートカケガワに相談してみませんか」や、生徒が大学の先生に探究学習のオンライン相談を行う「大学の先生に相談してみませんか」を開始し、探究学習に対する外部相談体制を確立した。 ・新たに7つの地元企業等との連携プロジェクトを開始し、「掛川 SDGs プラットフォーム」に加盟し、260 を超える行政・企業・団体等とパートナーシップを締結するなど、外部連携を推進した。 ・生徒が探究学習等の成果を地域に発信、プレゼンする「出張！掛東生の声聞いてみませんか」を開始し、県主催の「高校生探究フェスタ」及び「SDGs スクールアワード」、掛川市主催の「か

	・ 心理的安全性の高い学校づくり	けがわ SDGs フェスタ」への生徒の参加を促し、生徒の探究学習における地域への発信を促進した。 ・ 心理的安全性が確保された生徒一人一人が活躍できる環境づくりの推進に向け、生徒一人一人の心理的安全性の現状を把握するほか、本校における心理的安全性向上に資する取組例をとりまとめ、学校経営、ホームルーム経営の参考資料とした。
--	-------------------------	---

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	小計	教諭(任短)	教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	外国語指導講師	部活動指導員	小計	計
転出者		1		4			5	1	1	1	3										8
退職者	1			2			3						1	1	5	5		1	2	15	18
再任用(退職)				1			1														1
転入者	1	1		5			7	1	1	1	3										10
新任者												1	1		5			1		8	8
再任用(新任)				4			4														4
差引増減				2			2					1		-1		-5			-2	-7	-5

(2) 現 員 数

(令和7年4月1日現在)

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	小計	教諭(任短)	教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	外国語指導講師	部活動指導員	小計	計
男	1	1	1	31			34	1	1		2		1		4	2				7	43
女				13	1	1	15		1	1	2	1			5			1		7	24
計	1	1	1	44	1	1	49	1	2	1	4	1	1		9	2		1		13	67

※再任用教諭：週 19 時間 25 分 6 人、フルタイム 6 人

(3) 健康管理について

令和5年度・令和6年度

教職員の健康管理については、結核検診・生活習慣病検診・人間ドック・指定年齢検診・健康講座を行い、疾病・異常の早期発見、早期治療に努め、健康増進を進めている。健康講座は心肺蘇生等の救急救命法に係る研修、アドレナリン自己注射薬エピペン（アナフィラキシー補助治療剤）の研修を開催した。また、年 12 回の

職員安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善を推進した。令和5年度は職員室の一角にあるミーティングルームをリニューアルし、令和6年度は女性更衣室に配置するソファとテーブルを確保した。

(4) 教職員の研修について

本校の現状を多面的に捉え、全職員共通のテーマ設定による校内研修と小グループ編成による授業改善研修を併用している。また、校外研修として、県総合教育センターや各教科研究協議会等が主催する研修会への積極参加を呼び掛けている。

令和5年度

ア 研修テーマ

「個別最適化された学び」の実現のための授業改善

イ 領域

3.6 授業改善・授業評価

ウ 研修期間

「新規」1年目／1年

エ テーマ設定の理由

教師の授業改善を促進することにより、生徒たちの学びの多様性への対応力を高める。特にICT活用と特別支援教育についての理解を深め、より包括的で効果的な学習環境を実現する。（「包括的」とは、異なる学習ニーズや背景を持つすべての生徒に対して適切な支援や機会を提供することを指す）

オ 実践内容

月	内 容
5 月	情報セキュリティに関する全体研修
6 月	小グループ研修の告知・テーマ設定
7 月	小グループによる授業参観・協議①
8 月	全体研修：「個別最適化された学びの実現」につながる情報端末の効果的な活用について
9 月	小グループによる授業参観・協議②
10月	先進校視察（東京） アントレプレナーシップ式能力開発研修に関する報告・共有”
11月	全体研修・特別支援教育（学びのユニバーサルデザイン）
12月	小グループによる授業参観・協議③
1 月	授業参観に関する協議内容の共有
2 月	校内研修の振り返り

カ 成果と課題

研修の機会に初めて ChatGPT を使う先生方も多く、活用するうえでの注意点や有益な活用方法について学ぶ良い機会になった。また、学びのユニバーサルデザインに関する研修では、先生方の取り組みについて ICT を用いて表現してもらい、共有することで先生方同士の理解を深めることもできた。先進校視察やアントレプレナーシップ式能力開発研修の報告は、これからの教員が向かうべき方向性について考えるきっかけとなった。一年を通して先生方が各研修に対して非常に協力的で、充実した取り組みを行うことができた。

キ 今後の展望

生徒が自らの学びを振り返るための方法について、デジタル採点から出力される帳票の有効な活用方法を検討していきたい。また、研修に対して意欲のある先生方

が多忙によりその時間が取りにくいことが課題の一つであるので、業務の削減・効率化が研修を成功させるための重要な要素であると思う。

令和6年度

ア 研修テーマ

クラウドを活用した、学び(研修)の個性化と協働的な学び

イ 領域

1.5 その他・全般

ウ 研修期間

「新規」1年目／1年

エ テーマ設定の理由

それぞれの興味・関心等に応じた研修や課題に取り組む機会を提供する。
それをクラウドで共有し、互いをよりよく理解し強みを活かし合う組織を目指す。

オ 実践内容

月	内 容
4月	ICT研修 各種研修計画の立案
5月	研修の周知と個別の研修活動の開始
6月	授業公開週間
7月	授業アンケートの収集・共有
8月	全体研修・クラウドの特徴と活用方法（実践）
11月	授業公開週間 全体研修・研修活動の報告と共有
12月	授業アンケートの収集・共有
1月	一年間の振り返りと次年度に向けた研修計画の検討
2月	研修報告書の提出

カ 成果と課題

研修では、教員が自分の関心に基づいてテーマを設定でき、主体的に学ぶことができた。その結果、教員間でお互いの強みを理解し合うことができ、協力関係が強化できた。また、授業参観後のフィードバックは、授業改善に対する意識向上に非常に効果的であった。年次研修でのチーム研修においても、それぞれが工夫を凝らして主体的に企画し、職員間の交流を深めることに繋がった。本校では教員が研修に対してとても協力的で、年間を通して全体的に有意義な活動を行うことができた。

キ 今後の展望

今年度の活動を通して、生徒と同じく教員も自らの興味関心に基づき主体性を発揮できる場面があると研修に意欲的に取り組めることがわかった。今後も、先生方自身が探究的に学びを深めていけるような研修をデザインしていけると良いと感じた。

6 防災対策について

令和5年度

(1) 防火対策

火災予防を第一として地元消防署と連携を取りながら防火対策を立て万一の出火に備えた。特別教室棟からの出火を想定した避難経路の確認や避難梯子の点検を定期的実施している。

3月には生徒を対象にした総合消防訓練を計画し、昨年同様AED講習と初期消火、放水、スモーク避難体験を行った。

(2) 地震対策

4月の地震発生を想定した防災訓練は地震発生時を想定したグランドへの避難と地区別の名簿作り、リーダーの選出を実施した。今年度は車椅子の生徒を対象とした避難訓練も実施した。9月は災害用伝言ダイヤルの体験と各居住地区のハザードマップの確認の他、生徒自身のこれまでの地震体験を語り合い、地震発生時の対応について情報を共有した。また、本校は地域の広域避難所となっている関係から掛川市危機管理課防災対策係と連携した防災対策は年2回実施し、地域住民の避難所として対応できるよう備えている。

(3) 学校警備

退校時における戸締り、火気点検、また職員室等で使用するコンピュータ等の機器の電源を確実に切ることを徹底している。新任者へのオリエンテーションの中でも取り上げ、確実に実施できるよう努めた。夜間においては警備会社委託の機械警備方式を継続し、事故の未然防止に努めている。

来客者には受付で名札をつけることを義務づけること、正門以外の通用門の開放時間帯を設定し、外部からの侵入者に対する策についても継続し、不審者の早期発見に努めている。

(4) 設備の保守・保安

消防設備、電気設備の保守・保安点検については毎年、専門業者に業務を委託し、異常箇所を発見した場合はその都度整備を行い、万全を期している。また管理職による安全点検を実施するとともに学期ごとに安全点検日を設定し、全職員で学校事故を未然に防ぐよう努力している。

令和6年度

(1) 防火対策

本年度も、火災予防を第一として地元消防署と連携を取りながら防火対策を立て万一の出火に備えた。特別教室棟からの出火を想定した避難経路の確認や避難梯子の点検を定期的実施した。

3月には生徒を対象にした総合消防訓練を計画し、AED講習と初期消火、放水、スモーク避難体験を行った。

(2) 地震対策

4月の地震発生を想定した防災訓練は地震発生時を想定したグランドへの避難と地区別の名簿作り、リーダーの選出を実施した。8月は防災行動シート、防災カードの作成や伝言ダイヤルの体験、「災害時判断ワークシート」を使ったグループワークを行った。また、本校は地域の広域避難所となっている関係から掛川市危機管理課防災対策係と連携した防災対策は年2回実施し、地域住民の避難所として対応できるよう備えた。

(3) 学校警備

本年度も、退校時における戸締り、火気点検、また職員室等で使用するコンピュータ等の機器の電源を確実に切ることを徹底した。新任者へのオリエンテーションの中でも取り上げ、確実に実施できるよう努めた。夜間においては警備会社委託の機械警備方式を継続し、事故の未然防止に努めた。

来客者には受付で名札をつけることを義務づけること、正門以外の通用門の開放時間帯を設定し、外部からの侵入者に対する策についても継続し、不審者の早期発見に努めた。

(4) 設備の保守・保安

消防設備、電気設備の保守・保安点検については毎年、専門業者に業務を委託し、異常箇所を発見した場合はその都度整備を行い、万全を期している。

7 学校開放について

令和5年度 開放実績なし

令和6年度 開放実績なし (R7.1.31 現在)

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第2条、第22条、第28条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県情報公開条例施行規則

学 校 施 設 の 概 要

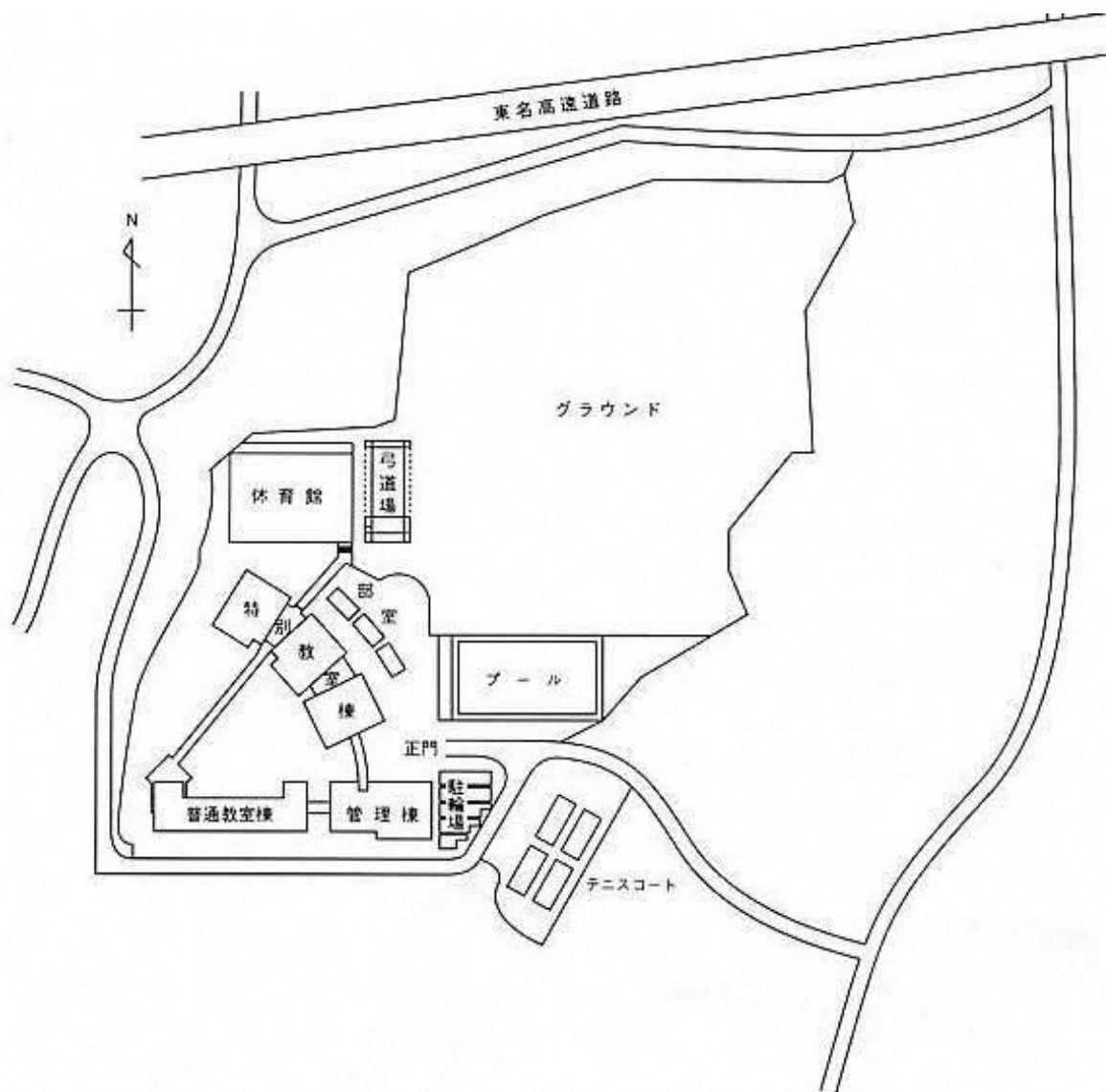
1 面積及び所有区分

(令和 7 年 1 月 31 日現在)

区 分		面 積	所 有 内 訳					摘要
			県 有	国 有	市町村 有	後援会 有	民 有	
学 校 敷 地		m ² 71,478.44	m ² 71,478.44	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	
内 訳	校 舎 敷 地	18,600.00	18,600.00					
	運 動 場 敷 地	28,230.00	28,230.00					
	その他の敷地	24,648.44	24,648.44					
校 舎		建 2,944.39 延 8,079.55	2,944.39 8,079.55					
体 育 館		建 1,559.77 延 2,805.89	1,559.77 2,805.89					
その他の建物		建 831.52 延 958.51	831.52 958.51					
プ ー ル		1 個	1 個					50M ×16M

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	71,478.44㎡	8,079.55㎡	28,230.00㎡
県 平 均	45,574.48㎡	9,807.98㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

(令和 7 年 1 月 31 日現在)

年次生	学科別 区分		普 通 科				(合 計)			
			定員	男子	女子	合計	定員	男子	女子	合計
1 年	入 学 者		200	82	128	210	200	82	128	210
		増 加								
		減 少		1	1			1	1	
	現 在			82	127	209		82	127	209
2 年	入 学 者		200	93	113	206	200	93	113	206
		増 加								
		減 少		2	2			4	2	2
	2 年時当初			91	111	202		91	111	202
		増 加								
		減 少								
	現 在			91	111	202		91	111	202
3 年	入 学 者		200	86	123	209	200	86	123	209
		増 加								
		減 少		2	2			2	2	
	2 年時当初			84	123	207		84	123	207
		増 加								
		減 少		1	1			1	1	
	3 年時当初			84	122	206		84	122	206
		増 加								
減 少										
	現 在			84	122	206		84	122	206
合 計			600	257	360	617	600	257	360	617

入学志願者及び入学者数調

区 分		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生 徒 定 員 (A)		200	200	200	200	200
募 集 者 数 (B)		200	200	200	200	200
志願者数	男	92	114	101	90	85
	女	120	154	115	133	127
	計(C)	212	268	216	223	212
受検者数	男	92	113	99	90	85
	女	120	154	115	133	127
	計(D)	212	267	214	223	212
合格者数	男	90	86	93	82	83
	女	117	123	113	128	123
	計(E)	207	209	206	210	206
志願倍率(C)/(B)		1.06	1.34	1.08	1.12	1.06
受検倍率(D)/(B)		1.06	1.34	1.07	1.12	1.06
入学者数	男	89	86	93	82	83
	女	117	123	113	128	123
	計(F)	206	209	206	210	206
充足率(F)/(A)		1.03	1.05	1.03	1.05	1.03

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

(単位：人)

学 科 別		全日制普通科			(計)		
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数		204	203	206	204	203	206
内 訳	(進学志願者)	(196)	(192)	(194)	(196)	(192)	(194)
	進 学						
	大学・短大	145	147	165	145	147	165
	専修・各種学校等	45	44	24	45	44	24
	小 計	190	191	189	190	191	189
	就職者	8	11	12	8	11	12
	自営者	0	0	0	0	0	0
	進学準備者	6	0	5	6	0	5
	その他	0	1	0	0	1	0
合 計		204	203	206	204	203	206

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	4 年 度	5 年 度	6 年 度
就職希望者数	8	11	12
求 人 数	315	323	352
求 人 倍 率	39.38	29.36	29.3

3 資格取得状況

(令和6年度) (単位：人)

学 科 別			全日制普通科	(計)
卒業生徒数			206	206
資格 の 取 得 状 況	実用英語検定	2 級	36	36
		準 2 級	93	93
	漢字能力検定	2 級	9	9
		準 2 級	18	18
		3 級	3	3
	パソコン検定	準 2 級	12	12
		3 級	15	15
合 計			186	186

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年1月31日現在) (単位: 人)

市町名	掛川市	菊川市	袋井市	御前崎市	その他	合 計
生徒数	352	99	65	40	61	617
構成比%	57%	16%	11%	6%	10%	100%

(2) 通学方法 (令和7年1月31日現在) (単位: 人)

区 分	自転車	電車	バス	徒歩	その他	合 計
生徒数	227	215	102	18	55	617
構成比%	37%	35%	17%	3%	8%	100%

2 部 (クラブ) の加入状況

(令和7年1月31日現在) (単位: 人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部 (クラブ) 数		12	8		20
男子	1 年	74	8	0	82
	2 年	83	4	4	91
	3 年	68	11	5	84
	計 (A)	225	23	9	257
	構成比	88%	9%	3%	100%
女子	1 年	68	53	7	128
	2 年	58	46	6	110
	3 年	56	53	13	122
	計 (B)	182	152	26	360
	構成比	51%	42%	7%	100%
(A + B)		407	175	35	617
合計	構成比	66%	28%	6%	100%

職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	邑 田 聡 一		☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
2	副校長	小 杉 友 祐		☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
3	教 頭	渡 部 芳 典		☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
4	事務長	杉 本 仁		☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
5	教 諭	赤 堀 憲 吾	情 報	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
6	教 諭	安 達 俊 光	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
7	教 諭	石 川 秀 雄	地歴・公民	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
8	教 諭	市 川 大 介	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
9	教 諭	伊 藤 真 仁	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
10	教 諭	伊 藤 清 乃	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
11	教 諭	伊 町 悠 希	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
12	教 諭	大 庭 久 幸	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
13	教 諭	柏 木 繁	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
14	教 諭	片 岡 徹	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
15	教 諭	勝 又 基 次	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
16	教 諭	河 合 和 香	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
17	教 諭	川 島 淳 平	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
18	教 諭	木 内 麻 子	家 庭	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
19	教 諭	樽 林 正 晃	地歴・公民	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
20	教 諭	小 林 峰 人	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
21	教 諭	西 郷 将	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
22	教 諭	西 藤 仁	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
23	教 諭	齊 藤 達 夫	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
24	教 諭	佐 久 間 基	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
25	教 諭	笹 本 悠	地歴・公民	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
26	教 諭	杉 浦 孝 利	地歴・公民	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
27	教 諭	杉 本 光 希	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
28	教 諭	鈴 木 浩 之	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
29	教 諭	鈴 木 安 雄	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
30	教 諭	鈴 木 美 徳	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
31	教 諭	世 古 雄 馬	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
32	教 諭	高 木 重 幸	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
33	教 諭	手 嶋 雅 人	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
34	教 諭	戸 塚 康 通	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
35	教 諭	成 岡 優 季	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	

整理 番号	職 名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
36	教 諭	新 山 真 悟	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
37	教 諭	平野由佳里	音 楽	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
38	教 諭	福 井 大 貴	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
39	教 諭	藤 井 桃 子	福祉・家庭	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
40	教 諭	藤 原 綾 乃	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
41	教 諭	前 田 直 美	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
42	教 諭	松 井 君 貴	数 学	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
43	教 諭	村 田 益 広	保健体育	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
44	教 諭	村 松 岳 詩	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
45	教 諭	村 松 由 記	外 国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
46	教 諭	山 崎 千 晶	家 庭	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
47	教 諭	山下美保子	国 語	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
48	教 諭	横 田 亜 紀 子	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
49	養護教諭	澤 田 智 英 子	養 護	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
50	実習助手	竹 中 麻 由 依	理 科	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
51	主 査	山 下 彰 子	会 計	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
52	主 査	松 島 一 貴	管財・会計	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
53	主 任	中 野 賀 子	庶務・会計	☐ ☐ ☐	☐ . ☐	
平 均 年 数					3 . 4	

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(臨)	小 澤 茂 昌	数 学	□ □ □	□ . □	
2	教諭(任短)	鈴 木 志 津 子	家 庭	□ □ □	□ . □	
3	会計年度任用職員	佐 藤 佳 代 子	国 語	□ □ □	□ . □	
4	会計年度任用職員	山 崎 貞 雄	国 語	□ □ □	□ . □	
5	会計年度任用職員	山 下 通 信	数 学	□ □ □	□ . □	
6	会計年度任用職員	豊 田 静 香	外 国 語	□ □ □	□ . □	
7	会計年度任用職員	浦 木 裕 之	美 術	□ □ □	□ . □	
8	会計年度任用職員	糸 田 京 子	書 道	□ □ □	□ . □	
9	会計年度任用職員	大久保まゆみ	家 庭	□ □ □	□ . □	
10	会計年度任用職員	朝 比 奈 謙 司	用 務	□ □ □	□ . □	
11	会計年度任用職員	伴 野 俊 介	用 務	□ □ □	□ . □	
12	会計年度任用職員	テイラー・ラクロス	外 国 語	□ □ □	□ . □	
13	校医	内 山 博 英	内 科	□ □ □	□ . □	
14	校医	近 藤 信 嘉	歯 科	□ □ □	□ . □	
15	校医	山 本 憲 司	眼 科	□ □ □	□ . □	
16	校医	村 上 泰	耳 鼻 科	□ □ □	□ . □	
17	薬剤師	角 皆 忍	薬 剤 師	□ □ □	□ . □	
18	健康管理医	内 山 博 英	産 業 医	□ □ □	□ . □	

職員の年齢調

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
2 0 歳未満	0 人	
2 0 歳以上 3 0 歳未満	3 人	
3 0 歳以上 4 0 歳未満	1 2 人	
4 0 歳以上 5 0 歳未満	1 1 人	
5 0 歳以上 5 6 歳未満	9 人	
5 6 歳以上 6 1 歳未満	6 人	再任用 0 人
6 1 歳以上	1 2 人	再任用 1 2 人
計	5 3 人	平均年齢 4 8 . 3 歳

健 康 管 理

1 令和 6 年度 受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 50人 職員数 51人
受 診 率	98.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由
入院治療中

2 令和 7 年度 在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	18(18)人
D 2		要経過観察	24(24)人
D 3		医 療 不 要	11(11)人
区 分 者 計			53人
未区分者数			1人
合 計			54人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他
(特別休暇) 1人

(全日制・定時制・通信制・単位制の全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和5年度) (令和6年1月31日現在)

期 月 別		調 定 の 状 況								収納の状況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額					
前 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A期首収納権利発生額＝8,167,500円 120人×9,900円×6月＝7,128,000円 35人×9,900円×3月＝1,039,500円 計 8,167,500円
	5													B収納権利増減（▲）額＝▲89,100円 ＜内訳＞ 追及認定者 3人×9,900円×3月＝89,100円 C収納必要額A-B＝8,078,400円
	6													
	7													
	8													
	9													
	10	55	2,851,200	58	2,999,700	42	2,316,600	155	8,167,500	7,870,500	96.3	0	297,000	
	11											297,000		
	12	△ 2	△ 59,400			△ 1	△ 29,700	△ 3	△ 89,100					
	計	53	2,791,800	58	2,999,700	41	2,286,900	152	8,078,400	7,870,500	97.4	297,000		
後 期	10													A期首収納権利発生額＝8,019,000円 135人×9,900円×6月＝8,019,000円 1人×9,900円×1月＝ 9,900円 計 8,028,900円 B収納権利増減（▲）額＝0円 ＜内訳＞ 無し
	11													C収納必要額A-B＝8,028,900円
	12													
	1	48	2,801,700	49	2,910,600	39	2,316,600	136	8,028,900	7,969,500	99.2	0	59,400	
	2											59,400		
	3													
	計	48	2,801,700	49	2,910,600	39	2,316,600	136	8,028,900	7,969,500	99.2	59,400		
合 計	101	5,593,500	107	5,910,300	80	4,603,500	288	16,107,300	15,840,000	98.3	356,400		D収納必要額＝16,107,300円	

(全日制・定時制・通信制・単位制の全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度) (令和7年1月31日現在)

期 月 別		調 定 の 状 況								収納の状況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入未 済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額					
前 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A期首収納権利発生額＝8,850,600円 130人×9,900円×6月＝7,722,000円 38人×9,900円×3月＝1,128,600円 計 8,850,600円 B収納権利増減（▲）額＝0円 ＜内訳＞ 無し C収納必要額A－B＝8,850,600円
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10	55	2,940,300	56	2,821,500	57	3,088,800	168	8,850,600	8,613,000	97.3	0	237,600	
	11											237,600		
	12													
	計	55	2,940,300	56	2,821,500	57	3,088,800	168	8,850,600	8,613,000	97.3	237,600		
後 期	10													A期首収納権利発生額＝9,028,800円 152人×9,900円×6月＝9,028,800円 計 9,028,800円 B収納権利増減（▲）額＝0円 ＜内訳＞ 無し C収納必要額A－B＝9,028,800円
	11													
	12													
	1	48	2,851,200	49	2,910,600	55	3,267,000	152	9,028,800	9,028,800	100.0	0		
	2													
	3													
	計	48	2,851,200	49	2,910,600	55	3,267,000	152	9,028,800	9,028,800	100.0			
合 計	103	5,791,500	105	5,732,100	112	6,355,800	320	17,879,400	17,641,800	98.6	237,600		D収納必要額＝17,879,400円	

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和 7 年 1 月 31 日現在)
	件 数	件 数
高 等 学 校 入 学 検 定 料	226	0

現 金 出 納 調

掛川東高等学校

(令和 5 年度)

(令和 6 年 4 月 30 日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,189,700	円 1,189,700	円 1,189,700	円 0	円 1,189,700 259 枚	円 1,189,700 53 枚
計	0	1,189,700	1,189,700	1,189,700	0	1,189,700 259 枚	1,189,700 53 枚

現 金 出 納 調

掛川東高等学校

(令和 6 年度)

(令和 7 年 1 月 31 日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,207,200	円 1,207,200	円 1,207,200	円 0	円 1,207,200 261 枚	円 1,207,200 51 枚
計	0	1,207,200	1,207,200	1,207,200	0	1,207,200 261 枚	1,207,200 51 枚

預 金 調

(令和7年1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0 0 5 4 7 4 0	静岡県立掛川東高等学校 資金前渡者校長榑松一樹	0	給与振込口座
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0 4 5 2 5 0 4	(自振口) 静岡県立掛川東高等学 校資金前渡者校長榑松一樹	0	電気料金・水道料金 電話料金等自動引落口座
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年1月31日現在)

(単位 : 枚、円)

区分	種類	前 年 度						本 年 度								摘 要	
		繰 越		受 入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高			
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		
郵便																	
計																	
プリペイドカード	バリアブルカード 5,160円券		13,440		0		0		0		0		0		0	13,440	授業で使用するアプリケーションダウンロード用
計			3,440		0		0		0		0		0		3,440		
収入印紙																	
計																	
納税証紙																	
計																	
有料道路回数券等																	
計																	
タクシーチケット																	
計																	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年1月31日現在)

(単位 : 枚、円)

区分	種 類	前 年 度						本 年 度								摘 要
		繰 越		受 入		払 出		繰越		受入		払出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
プリペイドカード	バリアブルカード 5,160円券		13,440	0	0	0	0	13,440	0	0	0	0	1	3,440	授業で使用するアプリケーションダウンロード用	
計			3,440	0		0		0		0		0		3,440		

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					4年度	5年度	左のうち、4年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		1,680,679	
	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		4,846,974	
	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		1,048,091	
計					6,035,920	7,575,744	0
(14) 工 事 請 負 費	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		0	
計					8,652,600	0	0
(16) 公有財産 購 入 費							
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		95,700	
計					0	95,700	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		56,875,500	
計					57,505,200	56,875,500	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年1月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	4,795,583	
	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	3,163,309	
	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	907,658	
計					8,866,550	0
(14) 工 事 請 負 費	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費						
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	287,100	
計					287,100	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	55,493,600	
計					55,493,600	0
(21) 補償、 補填及び 賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

(令和5年度)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約締 結方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 掛川東高等学校外7校消防設備等点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	円 7,005,988	円 6,017,000	円 0	円 6,017,000	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.10.31 5.10.31 5.10.31 6.3.29 6.3.29 (小計)	円 1,839,882 800,151 1,680,679 1,448,348 247,940 (6,017,000)	自動火災報知設備等の点検・設備保全 年2回点検	掛川東掛川西掛川工小笠横須賀池新田掛川特支本校御前崎分校
2	建築物環境衛生管理業務	静岡ビルサービス(株)	587,950	486,200	0	486,200	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.7.31 5.10.31 6.1.31 6.4.30 (小計)	85,250 224,400 85,250 91,300 (486,200)	ビル管理法による総合管理業務 毎月	随契1号(少額)
3	エレベータ保守点検業務	フジテック(株)静岡支店	582,120	582,120	0	582,120	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.6.30 5.8.31 5.10.31 5.12.27 6.2.29 6.4.30 (小計)	92,070 92,070 92,070 121,770 92,070 92,070 (582,120)	エレベータ(1基)の保守点検業務 月1回	随契1号(少額)
4	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	90,200	90,200	0	90,200	随契	5.4.5 ～ 5.6.30	5.7.31	90,200	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
5	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	5.6.9 ～ 5.9.29	5.10.31	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
6	廃薬品等の収集運搬及び処分	ジャパンウェスト(株)	98,604	98,604	0	98,604	随契	5.9.13 ～ 6.2.28	5.11.30	98,604	本校廃薬品等の収集運搬及び処分	随契1号(少額)
7	グリストラップ収集運搬	(株)袋井清掃	22,220	22,220	0	22,220	随契	5.10.13 ～ 5.11.30	5.11.30	22,220	本校グリストラップ汚泥収集運搬	随契1号(少額)
8	グリストラップ汚泥処分業務	(株)太洋サービス	5,500	5,500	0	5,500	随契	5.10.13 ～	5.12.4	5,500	本校グリストラップ汚泥	随契1号(少額)

								5.11.30			処分運搬	
9	産業廃棄物処理	㈱ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	5.9.25 ～ 5.12.28	6.1.31	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
10	産業廃棄物処理	㈱ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	6.1.9 ～ 6.3.29	6.4.30	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
	事務関係計	10件								7,575,744		
	合計	10件								7,575,744		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当初 設計 金額	契 約 金 額			契約締結 方法	契約期間	支出年 月 日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	掛川西 高校外 6校 警 備 業 務	総合警 備保障 (株) 静岡 支社		8,965,440	0	8,965,440		1.10.1 ～ 6.9.30			小笠地区の県 立学校7校の 夜間・休日警 備を委託する	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 2	小 笠 高 校 外 5校 浄 化 槽 保 守 点 検業務	中遠環 境保全 (株)		1,772,320	0	1,722,320		4.4.1 ～ 5.3.31			小笠地区の県 立学校6校の 浄化槽法に基 づく保守点検 業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 横須賀 掛川特 別支援
参考 3	掛川工業 高校外6 校自家用 電気工作 物保管理 業務	遠鉄ア シスト (株)		2,339,040	0	2,339,040		4.4.1 ～ 5.3.31			小笠地区の県 立学校7校の 自家用電気工 作物保管理 業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 4	横 須 賀 高校外6 校 プ ー ル 浄 化 装 置 保 守 点 検 業務	清化工 業 (株)		327,800	0	327,800		4.4.6 ～ 4.12.28			小笠地区の高 校7校のプー ル浄化装置保 守点検業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 5	掛 川 工 業 高 校 外3校 可 燃 物 収 集 運 搬 処 分 業務	中遠環 境保全 (株)		単価契約 収集運搬 1,925 円/回 処分 16.5 円/1Kg	0	単価契約 収集運搬 1,925 円/回 処分 16.5 円/1Kg		4.4.8 ～ 5.3.30			掛川市内県立 学校4校の廃 棄物を収集運 搬する業務	掛川東 掛川西 掛川工 掛川特 別支援
参考 6	掛 川 工 業 高 校 外3校 可 燃 物 収 集 運 搬 処 分 業務	福田一 級建築 士事務 所 福田 光宏		2,156,000	0	2,156,000		4.9.6 ～ 4.12.15			掛川菊川地区 県立学校の建 築基準法第12 条に基づく定 期点検業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
	計	6件										

委託料に関する調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係)掛川東高等学校外7校消防設備等点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	円 7,502,330	円 6,985,000	円 0	円 6,985,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.10.31 6.10.31 6.10.31 (小計)	円 2,087,729 907,658 2,375,583 (5,370,970)	自動火災報知設備等の点検・設備保全 年2回点検	掛川東掛川西掛川工小笠横須賀池新田掛川特支本校御前崎分校
2	建築物環境衛生管理業務	静岡県ビルサービズ(株)	587,950	486,200	0	486,200	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 6.10.31 7.1.31 (小計)	85,250 224,400 85,250 (394,900)	ビル管理法による総合管理業務 毎月	随契1号(少額)
3	エレベータ保守点検業務	フジテック(株)静岡支店	582,120	582,120	0	582,120	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.6.28 6.8.30 6.10.31 6.12.26 (小計)	94,270 94,270 94,270 123,970 (406,780)	エレベータ(1基)の保守点検業務 月1回	随契1号(少額)
4	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	6.4.4 ～ 6.6.28	6.7.31	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
5	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	6.6.5 ～ 6.9.30	6.10.31	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
6	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	6.9.24 ～ 6.12.27	7.1.31	91,300	本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)

7	掛川菊川地区県立学校定期点検業務	福田一級建築士事務所 福田光宏	2,475,000	2,420,000	0	2,420,000	一般	6. 9.20 ～ 6. 12.27	7. 1.31	2,420,000	掛川菊川地区県立学校の建築基準法第12条に基づく定期点検業務	掛川東掛川西掛川工小笠新田横須賀掛川特別支援
8	産業廃棄物処理	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	7. 1. 6 ～ 7. 3.31			本校産業廃棄物処理コンテナ1台	随契1号(少額)
	事務関係計	8件								8,866,550		
	合 計	8件								8,866,550		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当初 設計 金額	契 約 金 額			契約締結 方法	契約期 間	支出年 月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	掛 川 西 高校外 6 校 警 備 業 務	総合警 備保障 (株) 静岡 支社		8,965,440		8,965,440		1.10.1 ～ 6.9.30			小笠地区の県 立学校7校の 夜間・休日警 備を委託する	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 2	掛 川 西 高校外 6 校 警 備 業 務	総合警 備保障 (株) 静岡 支社		10,021,440		10,021,440		6.10.1 ～ 11.9.30			小笠地区の県 立学校7校の 夜間・休日警 備を委託する	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 3	小 笠 高 校 外 5校 浄 化 槽 保 守 点 検業務	中遠環 境保全 (株)		1,762,365		1,762,365		6.4.1 ～ 7.3.31			小笠地区の県 立学校6校の 浄化槽法に基 づく保守点検 業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 横須賀 掛川特 別支援
参考 4	掛 川 工 業 高 校 外6校自 家 用 電 気 工 作 物 保 安 管 理 業 務	遠鉄ア シスト (株)		2,655,484	314,799	2,970,283		6.4.1 ～ 7.3.31			小笠地区の県 立学校7校の 自家用電気工 作物保安全管理 業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛 川 特 別支援
参考 5	横 須 賀 高校外6 校 プ ー ル 浄 化 装 置 保 守 点 検 業務	清化工 業 (株)		330,000		330,000		6.4.5 ～ 6.12.27			小笠地区の高 校7校のプー ル浄化装置保 守点検業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援
参考 6	掛 川 工 業 高 校 外3校 可 燃 物 収 集 運 搬 処 分 業務	中遠環 境保全 (株)		単価契約 収集運搬 2,090 円/回 処分 16.5 円/1Kg		単価契約 収集運搬 2,080 円/回 処分 16.5 円/1Kg		6.4.10 ～ 7.3.31			掛川市内県立 学校4校の廃 棄物を収集運 搬する業務	掛川東 掛川西 掛川工 掛川特 別支援
参考 6	掛 川 菊 川 地 区 県 立 学 校 定 期 点 検 業 務	福田一 級建築 士事務 所 福田 光宏		2,475,000		2,475,000		5.9.6 ～ 5.12.15			掛川菊川地区 県立学校の建 築基準法第12 条に基づく定 期点検業務	掛川東 掛川西 掛川工 小 笠 池新田 横須賀 掛川特 別支援

負 担 金 支 出 調

(令和 5 年度)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負 担 根 拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授 業料 (第 1 期分) (4～6 月 481 名分) (7～9 月 475 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する生徒の授 業料に充てる	28,393,200	5.10.31
2	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授 業料 (第 1 期分) (7～9 月 1 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する生徒の授 業料に充てる	29,700	5.11.17
3	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授 業料 (第 1 期分) (7～9 月 3 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する生徒の授 業料に充てる	89,100	5.12.27
4	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授 業料 (第 2 期分) (10 月 479 名分) (11 月 478 名分) (12～3 月 477 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する生徒の授 業料に充てる	28,363,500	6. 1.31
計		4 件			56,875,500	

負 担 金 支 出 調

(令和 6 年度)
(令和 7 年 1 月 31 日現在)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負 担 根 拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	第 6 回全国高等学校長協会第 76 回総会・研究協議会	4,000	6. 4. 30
2	講習参加費	一般財団法人日本防災協会	開催要項による	防火管理講習（甲種新規）	8,000	6. 6. 24
3	会議参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6. 7. 19
4	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第 1 期分) (4～6 月 472 名分) (7～9 月 466 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	27,858,600	6. 10. 31
5	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校授業料 (第 2 期分) (10～3 月 465 名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に 関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	27,621,000	7. 1. 31
計		5 件			55,493,600	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	ソフトボール場天井ネット更新工事	掛川市 南西郷 地 内	円 1,815,000	円 1,518,000	円 0	円 1,518,000
		合 計	1件		1,518,000	0	1,518,000

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	掛川東高等学校トイレ 洋式化工事	掛川市 南西郷 地 内	円 14,641,000	円 14,520,000	円 -1,804,000	円 12,716,000
		合 計	1件	14,641,000	14,520,000	-1,804,000	12,716,000

事 調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)トダックス	6. 12. 26 ～ 7. 3. 28	円	グラウンド北側防球ネット取替工事一式	—	随契1号(少額)令達 R6.11.27支払
			0			

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	(株)浅岡工業	R4.6.14 ～ R6.9.27	円 12,716,000	普通教室棟、管理棟のトイレ洋式化工事(21基)	—	交通基盤部設備課
			12,716,000			

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区 分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 3,261,576		千円		千円		千円 3,190,430	
土 地	m ² 71,478.44	2,089,315					m ² 71,478.44	2,089,315	
立木竹	本 40	660					本 40	660	
建 物	m ² 5,335.68 11,843.95	1,017,296				54,878	m ² 5,335.68 11,843.95	962,418	
工 作 物	個 93	154,305				16,268	個 93	138,037	
普通財産		1,228						1,228	
土 地	m ² 29.43	1,228					m ² 29.43	1,228	
建 物	m ² 0.00 0.00	0					m ² 0.00 0.00	0	
工 作 物	個 1	0					個 1	0	
公有財産に準 ずるもの		121						121	
電話加入権	件 5	121					件 5	121	

公 有 財 産 調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年1月31日現在		摘要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 3,190,430		千円		千円		千円 3,119,285	
土 地	m ² 71,478.44	2,089,315					m ² 71,478.44	2,089,315	
立木竹	本 40	660					本 40	660	
建 物	m ² 5,335.68 11,843.95	962,418				54,878	m ² 5,335.68 11,843.95	907,540	
工 作 物	個 93	138,037				16,267	個 93	121,770	
普通財産		1,228						1,228	
土 地	m ² 29.43	1,228					m ² 29.43	1,228	
建 物	m ² 0.00 0.00	0					m ² 0.00 0.00	0	
工 作 物	個 1	0					個 1	0	
公有財産に準 ずるもの		121						121	
電話加入権	件 5	121					件 5	121	

借地借家等調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	ソフト ボール 場屋外 投光器
2	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	野球部 ダック アウト 及びブ ルペン
3	工作物	事務 所建	掛川市 南西郷 1357	校舎	S 3 階	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	空調 設備
4	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	部活動 器具庫 等
5	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	野球部 打撃練 習場
6	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	サッカ ー場屋 外投光 器
7	工作物	学校 敷地	掛川市 南西郷 1357	学校 敷地	学校 敷地	一式	免除	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川東高校 P T A会長	部活動 器具庫 等
8	工作物	冷暖房 装置	掛川市 南西郷 1357			一個		237, 047	R3. 7. 1 ～ R16. 6. 30	三井住友フ ァイナンス &リース株 式会社	普 通 教 室空調
9	工作物	冷暖房 装置	掛川市 南西郷 1357			一個		2, 678, 892	R6. 7. 1 ～ R19. 6. 30	N T T ・ T C リース株 式会社静岡 支店	特 別 教 室空調
	計							237, 047			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年 1 月 31 日現在)

区 分	事業名又は 契 約 名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
長期継続 契 約	カラー印刷機賃貸 借契約及び使用契 約	カラー印刷機 1 台賃貸借料 (契約日) R 5. 12. 15	3, 135, 000	円	円	円	円	円 156, 750

区 分	事業名又は 契 約 名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度
長期継続 契 約	電子複写機賃貸借 契約及び使用契約	複写機 2 台の 賃貸借・使用料 (契約日) R 6. 4. 1	2, 356, 200	円 471, 240	円 471, 240	円 471, 240	円 471, 240	円 471, 240
長期継続 契 約	カラー印刷機賃貸 借契約及び使用契 約	カラー印刷機 1 台賃貸借料 (契約日) R 5. 12. 15	3, 135, 000	627, 000	627, 000	627, 000	627, 000	470, 250

行政財産貸付・使用許可調

(令和6年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 3.42	円 免除	円 免除	2.4.1 ～ 7.3.31	掛川東高校 PTA会長	記念碑 6ヶ所
2	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 598.82 (埋設物 19.6m)	免除	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	掛川東高校 PTA会長	部活動 器具庫等
3	建物	事務所建	掛川市 南西郷 1357	校舎	S3階	m ² 31.68	免除	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	掛川東高校 PTA会長	購買室 1ヶ所
4	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 土地 0.69	免除	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	掛川東高校 PTA会長	空調設備 1式
	建物	事務所建		校舎	S3階	建物 73.27 (埋設物 211.0m)					
5	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 1,563.03	免除	免除	5.4.1 ～ 10.3.31	掛川市長	公共用道路 市道
6	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 7.83	免除	免除	5.4.1 ～ 10.3.31	掛川市長	防災倉庫 1ヶ所
7	建物	事務所建	掛川市 南西郷 1357	体育館	RC2階	m ² 14.21	免除	免除	5.4.1 ～ 10.3.31	掛川市長	災害時 非常食・毛布 置場
8	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	m ² 0.25	免除	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	しずてつジャスト ライン(株)	通学用 バス停1ヶ所
9	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	本柱15本 支柱6本 支線10条	1,500	46,500	4.4.1 ～ 9.3.31	中部電力 パワーグリッド(株) 掛川営業所長	電力供給 事業用
10	土地	学校敷地	掛川市 南西郷 1357	学校敷地	学校敷地	本柱1本 支線2条	1,500	4,500	5.4.1 ～ 10.3.31	西日本電信電 話(株)静岡支店長	電信電話 事業用

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数 量 又 は 面 積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸 付・ 使用許可 目 的
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
11	建物	事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	S3階	m ² 3.00	—	14,980	6. 4. 1 ～ 7. 3.31	掛川東高校 PTA会長	自動販売機 3台
12	建 物	事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	S3階	m ² 0.61	免 除	免 除	5. 4. 1 ～ 10. 3.31	掛川市長	地域防災 無線設備 1台
13	土地 建物	学 校 敷 地 事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	学 校 敷 地 校 舎	学 校 敷 地 S3階	m ² 土地 22.08 建物 6.60	免 除	免 除	6. 4. 1 ～ 9. 3.31	掛川東高校 PTA会長	PTA職員用 執務場所 駐車場
14	土地	学 校 敷 地	掛川市 南西郷 1 3 5 7	学 校 敷 地	学 校 敷 地	m ² 0.20	免 除	免 除	5. 4. 1 ～ 10. 3.31	掛川市長	カーブミラー 1台
15	土地 建物	学 校 敷 地 事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	学 校 敷 地 校 舎	学 校 敷 地 S3階	m ² 土地 1.12 建物 559.15	—	285,160	6. 4. 1 ～ 9. 3.31	中村建設(株)	太陽光発電 設備一式
16	土地	学 校 敷 地	掛川市 南西郷 1 3 5 7	学 校 敷 地	学 校 敷 地	m ² 0.34	免 除	免 除	5. 4. 1 ～ 10. 3.31	掛川市長	避難場所 案内標識 1ヶ所
17	建 物	事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	S3階	m ² 0.28	免 除	免 除	5. 4. 1 ～ 10. 3.31	掛川市長	防災用 デジタル 無線機 1台
18	建 物	事 務 所 建	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	S3階	m ² 0.32	免 除	免 除	6. 4. 1 ～ 7. 3.31	掛川市長	広域避難所 停電時電源 切替システム 1ヶ所
19	土地	学 校 敷 地	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	学 校 敷 地	m ² 4.77	免 除	免 除	3. 3. 8 ～ 7. 3.31	掛川東高校 PTA会長	部活動 器具庫等
20	土地	学 校 敷 地	掛川市 南西郷 1 3 5 7	校 舎	学 校 敷 地	m ² 0.84	—	2,210	6. 9. 1 ～ 7. 3.31	松本印刷(株)	デジタルサイ ネージ1台
合 計								353,350			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は 使用許可 を受けた 者の氏名	貸付. 使 用 許 可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	住宅 敷地	掛川市 藺ヶ谷 字西田 1025-4	宅 地	宅 地	29.43 m ²	円 29,205	円 29,205	R4.4.1 ～ R7.3.31	個人	住宅 敷地
合 計								29,205			

主 要 備 品 調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器 タブレット端末80台他	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	R 1. 9	8,162,078 ^円
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	ネットワークコンピュータ 生徒機42台他	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	H30. 3	4,795,200 ^円
3	01-04	移動書庫	オカムラスリムライン 4+3	事務室用 毎日使用(年間240日)	H16. 3	1,700,000
4	02-03	その他の再生機器	視聴覚機器一式 NEC VT770J	授業用 毎日使用(年間190日)	H16. 3	1,494,255
5	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ CS2	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	S53.12	1,340,000
6	01-04	移動書庫	オカムラスリムライン 7+6	事務室用 毎日使用(年間240日)	H16. 3	1,155,000
7	10-12	トレーニング用器具	レック カール&エクステンションマシン セノー BA2113	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	H 1.12	1,107,250
8	01-04	移動書庫	金剛 一連8段単式1複式6	事務室用 毎日使用(年間240日)	H16. 3	975,300
9	01-04	戸棚	木製受注 大型理化学 1800*450/600*2000	物理室用 毎日使用(年間190日)	H16. 3	955,500
10	10-12	トレーニング用器具	バタフライ&ローイングマシン セノー BA2413	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	H 1.12	952,750
11	02-02	その他の情報伝達機器	タッチディスプレイ シャープPN-L703B	授業用 毎日使用(年間190日)	H27. 7	712,800
12	01-04	移動書庫	オカムラスリムライン 2+1	事務室用 毎日使用(年間240日)	H16. 3	684,000
13	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール ライト B7953	授業、部活用 毎日使用(年間190日)	H16. 3	535,500
14	12-01	雑機器	物置 イハバ MKW-201HN	管理用業務員作業所 毎日使用(年間240日)	H16. 3	535,500
15	01-04	戸棚	木製受注 大型 陳列ケース付	授業、部活用 被服室用(年間190日)	H16. 3	504,000
16	04-02	機能検査機器	試視力検査器 若松理化	授業、部活用(福祉実習) 毎日使用(年間190日)	H10. 8	500,000
17	01-07	裁断機	紙裁断機 ライオン	製本等(印刷室) 毎日使用(年間240日)	H 5. 1	477,199
18	10-99	その他の教育用器具	男性入浴介護モデル 京都化学	授業用 福祉実習室用(年間30日)	R 3. 1	475,200
19	01-04	戸棚	木製受注 大型 1800*2650*450/600	授業、部活用 調理準備室用(年間190日)	H16. 3	472,500
20	01-07	製本機	丁合機 ライオン	製本等(印刷室) 毎日使用(年間240日)	R 2.10	462,000